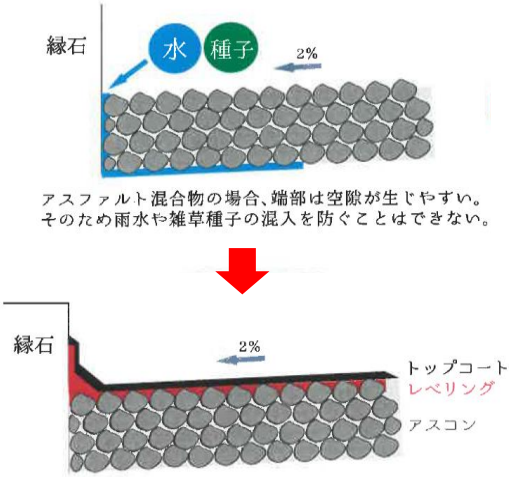
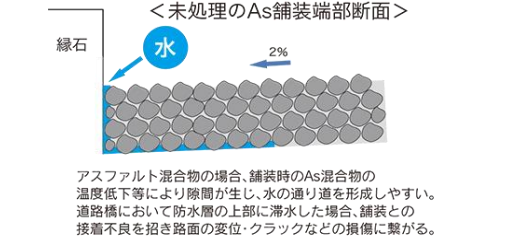
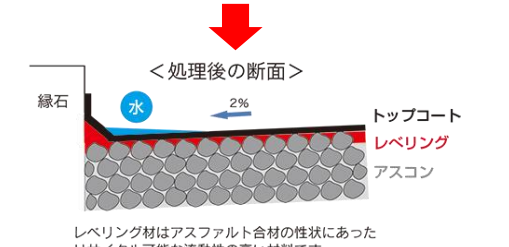
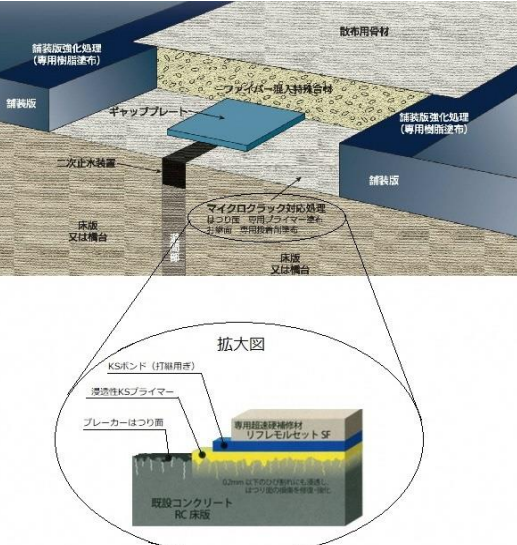

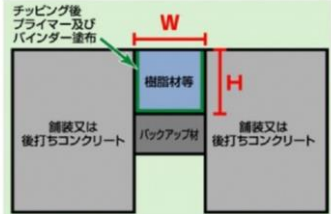
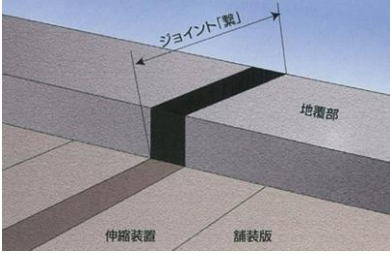
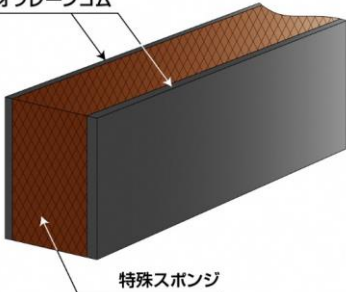
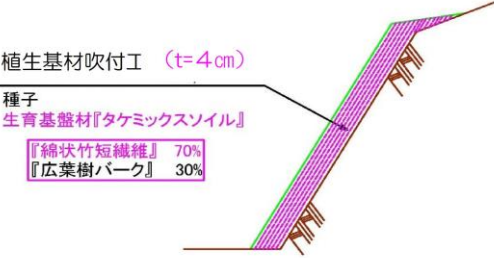
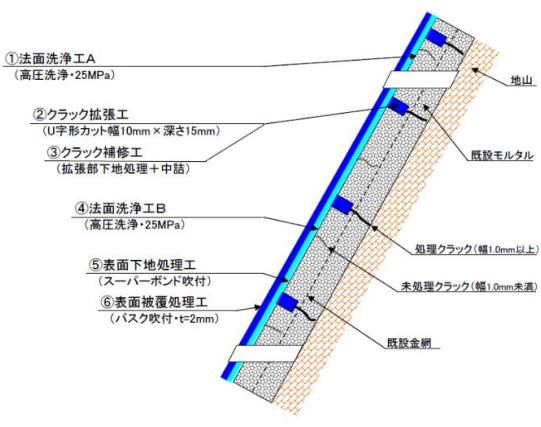
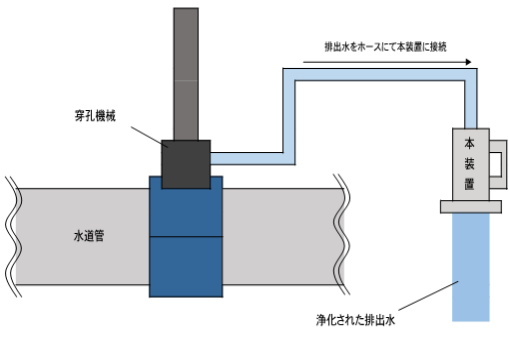


工法名	工法概要	新技術・新工法
登録番号	(工法説明) ・アスファルト舗装とコンクリート境界ブロック等による境界部・隙間から発生する雑草を抑制する技術。	
18029		
クサデナース	(特徴) ・縁石境界部を密封することにより、常に乾燥状態が継続され光も遮断するため、雑草の種子の発芽が抑制される。 ・長期間のメンテナンスフリーが確保できるので、維持管理費の低減を図ることができる。 (効果) ・品質、経済性、安全性、環境、県産資材活用	 <p>アスファルト混合物の場合、端部は空隙が生じやすい。そのため雨水や雑草種子の混入を防ぐことはできない。</p> <p>レベリング材はアスファルト合材の性状にあたりサイクル可能な流動性の高い材料です。トップコート材は水性ナノR・H塗料でMMA樹脂以上の耐久性、弾力性がある環境に優しい水性塗料を使用しています。</p>
登録番号	(工法説明)	
19031	・道路橋舗装面において地覆コンクリートと舗装との境界隙間からの雨水侵入をレベリング材（流動性及び防水性の高い材料）と、トップコート材（水性防水塗料）を塗布することにより抑制し、耐久性の向上を計る技術工法である。	
ブリッジガード	(特徴) ・橋梁の舗装端部から侵入する降雨水を遮断する工法である。 (効果) ・品質、環境、県産資材活用	<p><未処理のAs舗装端部断面></p>  <p>アスファルト混合物の場合、舗装時のAs混合物の温度低下等により隙間が生じ、水の通り道を形成しやすい。道路橋において防水層の上部に滞水した場合、舗装との接着不良を招き路面の変位・クラックなどの損傷に繋がる。</p> <p><処理後の断面></p>  <p>レベリング材はアスファルト合材の性状にあたりリサイクル可能な流動性の高い材料です。トップコート材は水性ナノR・H塗料でMMA樹脂以上の耐久性、弾力性がある環境に優しい水性塗料を使用しています。</p>
登録番号	(工法説明)	
19032	・橋梁用伸縮継手装置において、脆弱化した床版クラック部の補修を兼ね備えた、埋設ジョイントである。	
MMジョイントDS型 (EQM-J工法)	(特徴) ・従来の埋設ジョイント（舗装厚内型）に比べ、床版に発生したマイクロクラックの補修を浸透性KSプライマーで行い、伸縮性がある特殊合材に化学繊維を配合し舗設することにより、埋設ジョイントの耐久性の向上につながる。 (効果) ・品質、耐久性、県産資材活用	 <p>舗装版強化処理 (専用樹脂塗布)</p> <p>舗装版</p> <p>散布用骨材</p> <p>ファイバー入り特殊合材</p> <p>ギャッププレート</p> <p>二次止水装置</p> <p>床版又は構台</p> <p>床版又は構台</p> <p>マイクロクラック対応処理はつり座、応用プライマー塗布後、専用接着剤を塗布。</p> <p>拡大図</p> <p>KSボンド (打組用)</p> <p>浸透性KSプライマー</p> <p>プレーカーはつり座</p> <p>専用経路確保補修材 リフレモルセット SF</p> <p>既設コンクリート RC 床版</p>

工法名	工法概要	新技術・新工法
<p>登録番号 19033</p> <p>ゴム劣化取替工法</p>	<p>（工法説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> 橋梁用伸縮継手工事において、劣化した伸縮ゴム部を撤去後、樹脂で充填する工法である。 <p>（特徴）</p> <ul style="list-style-type: none"> 従来の伸縮継手工事に比べて伸縮ゴム部分のみの補修で可能な為、施工時間の短縮が図ることができる。 <p>（効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> 工程、経済性、安全性、施工性、環境 	 
<p>登録番号 19034</p> <p>ジョイント「繫」</p>	<p>（工法説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> 橋梁の地覆隙間部からの雨水などの侵入防止を目的とした隙間止水材である。 <p>（特徴）</p> <ul style="list-style-type: none"> スポンジゴムとネオプレンゴムの3層構造の止水材 復元性が高く既設コンクリートの追従性に優れる。 接着剤で固定するのみであるため、施工効率が向上する。 紫外線劣化に強く耐久性に優れる。 <p>（効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> 工程、品質、経済性、施工性、耐久性 	 
<p>登録番号 19035</p> <p>タケミックスソイル緑化工法</p>	<p>（工法説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ラス張工、接合剤を使用せず、『綿状生竹繊維』により造成された緑化基盤により、降雨、凍結、干ばつに対する耐久性を高め、自然環境の変化に順応することで、永続的な緑化基盤が維持される法面緑化工法。 <p>（特徴）</p> <ul style="list-style-type: none"> ラス張工を使用しないことで吹付緑化基盤の密度が均一化され、浸食耐久性が向上した。 単位体積重量が軽量となり、竹繊維の噛み合わせにより厚付け可能で、ダレが少なくなる。 接合剤による種子の固定が無く、種子が自由に動くため、発芽速度が速くなる。 <p>（効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> 工程、品質・出来形、経済性、安全性、施工性、耐久性、環境、県産資材活用 	 <p>『タケミックスソイル緑化工法』 適用範囲：吹付厚さ t=3-10cm 法面勾配 1：0.5より緩斜面 法高 法面垂直高さ80m以下</p>

工法名	工法概要	新技術・新工法
登録番号	(工法説明)	
20036	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化したモルタル・コンクリート面を生かし、表面保護を行うことにより延命化させることができる保護工法。 	
バスク工法wide	<p>(特徴)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小型専用機械施工を可能としたことにより、安定した材料の供給ができ、広範囲に吹付保護が可能となる。 ・全面を被覆することで、劣化原因となる水の浸入等を防止できる。 ・既設モルタル面の剥ぎ取りを伴わないため、産業廃棄物の発生を抑制でき、経済性の向上が期待できる。 <p>(効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工程、経済性、安全性、施工性、環境、県産資材活用 	 <p>①法面洗浄工A (高圧洗浄・25MPa)</p> <p>②クラック拡張工 (U字形カット幅10mm×深さ15mm)</p> <p>③クラック補修工 (拡張部下地処理+中詰)</p> <p>④法面洗浄工B (高圧洗浄・25MPa)</p> <p>⑤表面下地処理工 (スーパーボンド吹付)</p> <p>⑥表面被覆処理工 (バスク吹付・t=2mm)</p> <p>地山</p> <p>既設モルタル</p> <p>処理クラック(幅1.0mm以上)</p> <p>未処理クラック(幅1.0mm未満)</p> <p>既設金網</p> <p>※背面に空洞がある場合は、必要により背面処理を行う。</p>
登録番号	(工法説明)	
22037	<ul style="list-style-type: none"> ・送水管工事(枝管設置時等)の際に発生する洗管の排水を浄化する。 	
枝管設置時の排水浄化装置「洗管クン」	<p>(特徴)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事により発生する排水を、確実に一定の基準値以下に浄化することを可能とする。 ・装置は小型であり、持ち運びが容易で、使用も簡便である。 <p>(効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境 	 <p>穿孔機械</p> <p>水道管</p> <p>排出水をホースにて本装置に接続</p> <p>本装置</p> <p>浄化された排水</p>